広報

わかさ

Public-relations Wakasa

伝統野菜「山内カブラ」の花
（山内）

Contents

特集「23年度当初予算」 ・・・2
「まちづくりプラン」 ・・・4
まちの話題 ・・・6
町長随筆、クイズ ・・・10
３歳で～す、文芸 ・・・11
情報ＢＯＸ ・・・12
すまいる ・・・17
シリーズ「キラリ保育」 ・・・18
暮らしのカレンダー ・・・20

5
2011
No. 73

平成23年度当初予算

平成23年度の当初予算が決まりました。

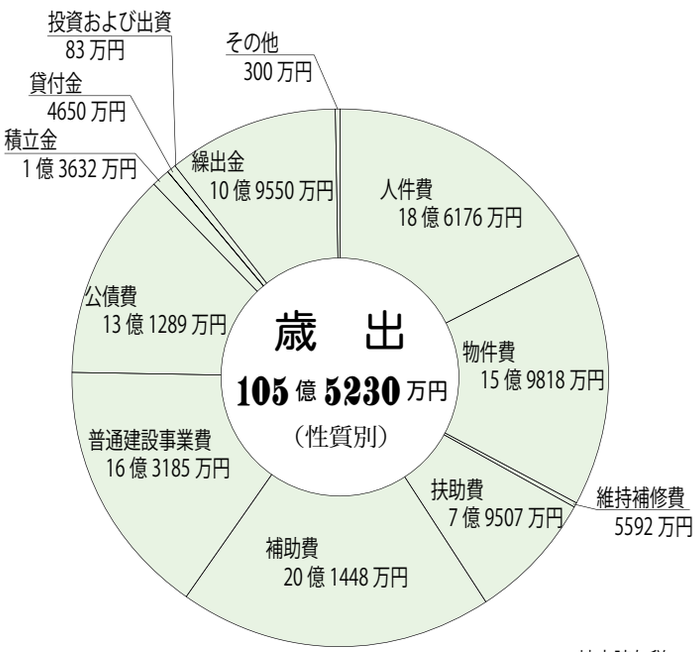
一般会計は105億5230万円で前年度比13.7%の増額となりました。

また、特別会計は48億5843万円、企業会計は10億4021万円を計上しています。

なお、今年度から平成28年度までの6年間は、若狭町総合計画後期計画「若狭町まちづくりプラン」に基づいて、具体的な政策を進めていくことになります。

一般会計　105億5230万円（前年度比13.7%）

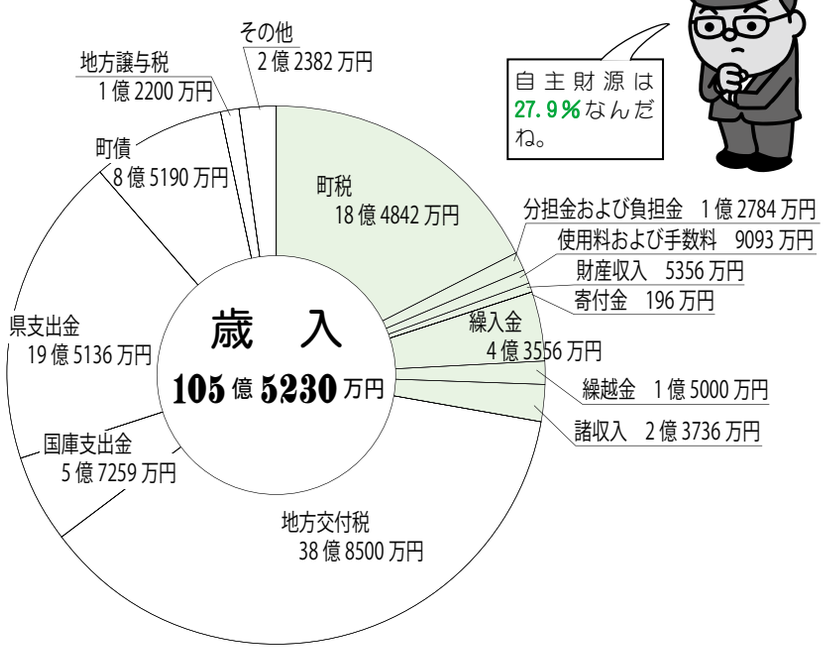
歳出



嶺南地域の有害鳥獣処理加工施設や若狭消防署上中分署の整備などの大型ハード事業が進められるほか、雇用機会の拡大に対する補助事業などが組み込まれました。

今回の予算には、若狭町総合計画後期計画「若狭町まちづくりプラン」の重点施策である「産業・防災・自然共生・歴史文化・健康・子育て・教育」に対する施策を、具体的に進めていくための予算となっています。

歳入



町税は前年度と比べ9.6%増となる18億4842万円を見込んでいます。これは、法人町民税の増収などを見込んでいるためです。

一方、町の借金である町債は町道整備に合併特例債を充当するためなど、前年度と比べ30.7%増の8億5190万円を見込んでいます。

また町の貯金である財政調整基金は取り崩すことなく予算編成を行い、健全財政の維持に努めています。

自主財源 ・・・町税など自らが確保することができるお金

依存財源 ・・・地方交付税交付金や国・県などからの支出金などほかの財源に頼るお金

若狭さんちの予算書

町の予算は約100億円という規模であり、わたしたちの生活からは実感がわきません。そこで、年収400万円の家庭に置き換えてみました。

収入

給与（町税）	70.1万円
パート収入（分担金および負担金、使用料および手数料）	8.3万円
財産運用（財産収入、諸収入）	11.0万円
寄付（寄付金）	0.1万円
貯金解約（繰入金）	16.5万円
前年繰越（繰越金）	5.7万円
親からの仕送り（地方交付税、国庫・県支出金など）	256.0万円
ローン借り入れ（町債）	32.3万円
計	400.0万円

支出

食費（人件費）	70.6万円
光熱水費や家屋の補修費（物件費、維持補修費）	62.7万円
教育・医療費（扶助費）	30.1万円
団体・サークル等の会費（補助費）	76.4万円
家財購入費（普通建設事業費）	61.9万円
借金返済（公債費）	49.7万円
貯金（積立金）	5.2万円
資産運用（貸付金、投資および出資、その他）	1.9万円
子どもへの仕送り（繰出金）	41.5万円
計	400.0万円

去年より給与は増える見込みだけど、支出もそれなりにかかってきちゃう。親が頼りだわ。

特別会計 48億5843万円（前年度比 5.4%増）

企業会計 10億4021万円（前年度比22.8%減）

一般会計（行政分野別）

分野	予算額	前年度比(%)
議会費	1億3336万円	＋ 37.3
総務費	17億3544万円	＋ 28.4
民生費	21億8191万円	＋ 3.3
衛生費	10億6303万円	△ 1.7
労働費	9294万円	＋ 13.8
農林水産業費	8億4960万円	△ 16.7
商工費	4億7004万円	＋ 59.1
土木費	11億2347万円	＋ 44.4
消防費	6億3307万円	＋ 63.5
教育費	9億4430万円	＋ 21.6
公債費	13億1289万円	＋ 2.1
諸支出金	925万円	△ 1.4
予備費	300万円	± 0

健全な財政運営になるよう努めます。

●問い合わせ
総務課　TEL 45-9109

特別会計

… 特定の事業について独立した予算で行う会計

会計	予算額	前年度比(%)
国民健康保険特別会計	18億1679万円	＋ 8.4
後期高齢者医療特別会計	1億6948万円	△ 1.7
直営診療所特別会計	910万円	△ 5.9
介護保険特別会計	15億1521万円	＋ 4.2
簡易水道事業特別会計	1億5830万円	＋ 32.0
農業者労働災害共済事業特別会計	219万円	△ 19.9
農業集落排水処理事業特別会計	3億9985万円	＋ 1.2
漁業集落排水処理事業特別会計	3661万円	＋ 0.2
公共下水道事業特別会計	5億7315万円	＋ 2.6
町営住宅等特別会計	1億4490万円	△ 1.9
土地開発事業特別会計	3285万円	△ 1.8

企業会計

… 地方公営企業法の適用を受けるもので、特定の事業について独立採算制をとっている会計

会計	予算額	前年度比(%)
水道事業会計	2億2945万円	＋ 15.2
工業用水道事業会計	3357万円	△ 90.2
上中病院事業会計	7億7719万円	△ 3.7

はじまります！ 若狭町総合計画後期計画

若狭町まちづくりプラン

若狭町では、変化する社会情勢を見据え、今後のまちづくりの指針となる若狭町総合計画後期計画「若狭町まちづくりプラン」を策定しました。

まちづくりプランは、平成 23 年度から平成 28 年度までの 6 年間の計画で、今後、プランに基づき、住民の皆さんとともにまちづくりに取り組んでいきます。

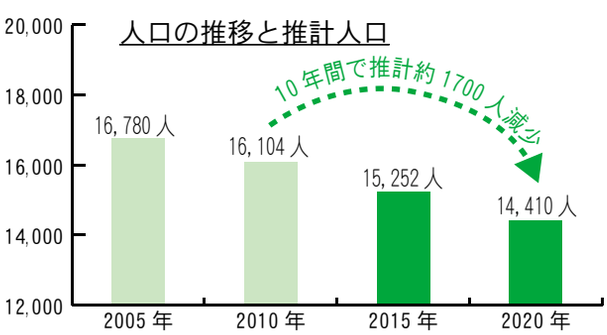
現状・課題 若狭町は今…

社会情勢は刻々と変化しています。また、その中で、若狭町も新たな課題が発生してきています。まちづくりプランは、若狭町の新しいまちづくりに向けての課題を解決するために策定した計画です。

◎人口が減少しています !!

若狭町は、2005 年から 5 年間で 676 人が減少しており、人口推計では、さらに 10 年後の 2020 年には、15,000 人を割り込むとされています。

人口の減少は、経済活動など、住民の生活への影響が大きく、特に、生産年齢人口（15 歳～64 歳）の減少は、子どもたちや高齢者を支えていく上で大きな課題となっています。



2005 年、2010 年は国勢調査結果
2015 年以降は人口問題研究所推計による（2005 年基準）

◎少子化と高齢化が進行しています !!

10 年後には小学生が約 200 人、中学生が約 100 人減少すると推測される一方、3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となることが推計されています。

◎産業の後継者問題、雇用問題 !!

農業や漁業、観光産業において、後継者が不足し、産業資源が保たれない状況にあります。雇用については、条件に合わないため就業に結びつかない状況が生じています。

◎自然環境の保全と住民生活の共生 !!

環境保全を進めながらも、地域住民の生活が豊かになるよう共存共生する必要があります。

◎コミュニティ意識が変化しています !!

住民のコミュニティ意識が変化し、住民意識調査では、若年層ほど集落活動への参加率が低く、また、役職の見直しなどを求める声も多い状況です。

「この町に住み続けたい」「この町に住んでよかった」と感じるまちづくりを！

まちづくり審議会会長
大下 恭弘さん（田井野）

若狭町は豊かな自然、歴史や文化に恵まれ、人々の心は温かく、それらは若狭町の宝です。

まちづくり審議会では、「定住の促進」や「協働のまちづくり」、「心の支援」や「環境政策の推進」、「教育の充実」など、今後のまちづくりについて議論を重ねてきました。

今後は、町の宝を活かし、みんなで支えあい、訪れる人々を温かく迎え、住民の絆を深めながら、若狭町が発展することを望みます。

基本戦略 これからのまちづくりの柱

新しいまちづくりに向けての課題を解決し、町の発展のために、総合的・長期的な手段として2つの基本戦略を設けました。今後は、この基本戦略をまちづくり推進の柱として、各事業に取り組みます。

基本戦略①

次世代の定住促進 ～若者が住みやすく、活躍するまちをつくる～

住民、地域、事業所、行政などが一体となり、若者が住みやすい風土や環境をつくり、活躍できるまちづくりを進めます。

▼戦略ポイント

①若者の雇用を充実する。
②若者が暮らしやすい住環境をつくる。
③若者の生活、生きがいづくりを支援する。

基本戦略②

住民自治の推進 ～子どもから高齢者までが支えあう地域をつくる～

地域住民の意思を尊重した、みんなでつくる地域づくりを推進し、住民と行政がお互いの責任と役割を分担する「協働」のまちづくりを進めます。

▼戦略ポイント

①みんなでつくる集落自治、広域的な地域づくりを推進する。
②シニア層（60・70歳代）の社会貢献を促進する。
③「住民主役」のまちづくり意識を育む。

重点施策 今後、重点的に取り組みます

今後、特に重点的、積極的に取り組む施策を「重点施策」として位置づけました。

① **地域産業を元気にする** ⇒ 観光PRの強化、産業連携の体制づくり、若狭ブランドの創出 など

② **地域の防災力を高める** ⇒ 地域危機管理体制の確立、地域防災訓練の実施 など

③ **自然と人が共生する** ⇒ 里地里山の保全、三方五湖の保全、資源リサイクルの推進 など

④ **歴史・文化を継承、創造する** ⇒ 縄文文化遺産の保存・活用、熊川宿の保存・活用 など

⑤ **元気なからだ、安心な暮らしをつくる** ⇒ 予防ネットワークの構築、生活習慣の改善支援 など

⑥ **子どもの育ちを応援する** ⇒ 継続した子育て支援体制の確立、子どもと親の心の支援 など

⑦ **現代社会で生きる心を育てる** ⇒ 社会教育団体の支援、家庭教育への支援と地域連携 など

住民の皆さんと「協働」して取り組む計画です

まちづくりプランは、行政のみならず、住民、地域、事業者など、みんながまちづくりに取り組んで行くための指針です。まちづくりプランには、住民の皆さんの役割を示してあります。みんなで力をあわせて、まちづくりを進めましょう。

●問い合わせ　政策推進課　TEL 45-9112

まちの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写っていましたらご連絡ください。写真をさしあげます。（企画情報課 TEL45-9110）

ほたるへ来い（3/27）

▲竣工式でのテープカット

熊川にあるＪＡ若狭熊川出張所の空き店舗が、財団法人日本船舶振興会からの助成を活用し、介護者を対象とした小規模多機能ホーム「ほたる熊川宿」として改修されました。

同施設は、要介護認定を受けている熊川地区の住民に対して、「通い」を基本に、利用者の様子や希望に応じた「訪問」や「宿泊」のサービスを組み合わせて“自宅で継続して生活するため”に必要な支援を行います。

竣工式には、事業主体である若狭町社会福祉協議会の会長をはじめ、関係者約 40 人が出席。同日行われた内覧会には約 70 人が見学をしました。

ココロから癒します（3/28）

美方高校吹奏楽部と合唱部の部員約 30 人が、レイクヒルズ美方病院において「レイクほのぼのコンサート」と題し、約 50 人の聴衆を前に心を癒す歌声と演奏を披露しました。

このコンサートは毎年開催されており、今年で６回目。病気などでふさぎがちな患者さんを元気づけるために開催されています。

今回は、あたたかい春の雰囲気を感じて欲しいと春のうたメドレーをはじめ全６曲を披露し、アンコールでは高校生らしく元気でパワフルな曲もあり、聴衆は生の歌声と演奏に元気をもらっていました。

▲歌声や演奏を披露する美方高校の生徒

みんなで応援 !!（3/29）

▲エレファンツの選手と後援会関係者

プロ野球ＢＣリーグに所属し、福井県を本拠地とする福井ミラクルエレファンツの若狭町後援会が発足しました。

地域での後援会は美浜町に次いで２番目。町内の野球愛好者や関係者をはじめとして若狭町民が一体となり球団を応援していきます。

この日集まった約 50 人の会員に対し、同球団の野田監督は「精一杯努力して、皆さんの期待に応えたい。」と力強く宣言していました。

７月 24 日（日）には「若狭町の日」として、美浜町運動公園野球場で公式戦が予定されています。

がんばろう日本！（4/1）

▲義援金とデニス&アマンダ夫妻からの手紙

オーストラリアでの海外研修を終えて帰国した若狭町国際交流協会研修団の一行が、現地のホームステイ先から預かった、東日本大震災の被災地への義援金 1,040 オーストラリアドル（約 9 万円）を森下町長へ手渡しました。

20 年以上に渡り、若狭町からの研修団を受け入れているデニス＆アマンダ夫妻が「今、日本にできることを！」と呼びかけ、現地の方々が応えたものです。

今回の心温まる義援金は、町から被災地の自治体へ届けられます。

祈りを込めて（4/2 ～ 3）

観光シーズンの幕開けを告げる「三方五湖春まつり」が行われました。

初日には、梅丈岳山頂公園において三方五湖広域観光協議会会長（森下町長）らが恒例の「かわらけ投げ」でシーズン中の賑わいや安全を祈願しました。

また久々子湖では、湖を開く意味を込めて「黄金の鍵」が投げ入れられ、その後地元保育園児らが祈念乗船して観光シーズンの幕開けを賑やかにスタートさせました。

同協議会会長の森下町長は、「西日本から盛り上げていこう。がんばろう日本！」と話していました。

▲祈りを込めてかわらけを投げる

沈着勇断の志（4/15）

▲献花をする地元小学生

佐久間勉艇長が殉職して 101 回目の命日にあたるこの日、遺族や海上自衛隊など関係者約 300 人が参列し遺徳顕彰式典が行われました。

式典では、海上自衛隊舞鶴音楽隊による演奏や日本明吟会による詩吟のほか、参列者による献花などで佐久間艇長を偲びました。

101 回目の命日にあたり、佐久間艇長の孫にあたる佐久間宏さんが「祖父を語る」と題し、祖父への想いを語ってくれました。

式典終了後は、若狭町食生活改善推進員により「佐久間艇長カレー」が参列者に振る舞われました。